

博士（国際関係学）ディプロマポリシー 国際関係学クラスター

国際大学学則で規定されている本学の目的と国際関係学研究科の教育研究上の目的を達成するために、国際関係学クラスター（IR クラスター）は博士（国際関係学）の学位を取得するために必要な修了要件と学修目標を次のとおり定める。

〈課程修了の要件〉

在学期間に関する要件

学生は、博士後期課程に3年（9学期間）以上在学しなければならない。

授業科目の履修及び修了に必要な単位数に関する要件

学生は、IR クラスターで指定された履修要件に従って科目を履修し、必要な単位数を取得しなければならない。学位取得に必要な単位数は、15単位とする。

単位認定

コースシラバスに明記された評価項目について審査したうえで、最終評価スコアが100点満点中60点以上であった学生に単位を与える。

また、学生は1年次に履修した指定必修科目の内容を踏まえた博士候補認定試験を受験し、すべての試験に合格することで、博士候補として認定される。博士候補認定試験は筆記試験によって行われる。

博士論文の提出に関する要件

学生は、博士論文指導委員会（1名の指導教員と2名の副指導教員からなる）の指導の下で、審査基準を満たす博士論文を完成させ、期限までに提出しなければならない。

博士学位論文の一部は、事前に査読付き学術誌に受理されていなければならない。

博士学位論文審査の要件

学生は、博士論文指導委員会と外部審査員からなる博士論文審査委員会による口頭試験に合格しなければならない。

〈学修目標〉

博士（国際関係学）の学位課程では、以下のスキル、知識、学術的態度の修得を学位授与の条件とする。

知識

- 国際関係論内の専攻分野における高度な知識
- 学術的研究における認識論的・方法論的パラダイムの知識
- 国際関係論分野における大学院レベル教育において指導できるのに十分な知識
- 国際的諸問題を扱うための理論と実践とを繋ぐ全体論的アプローチの知識

スキル

- 国際諸問題を深く理論的に理解する能力

- 国際関係論分野の最先端研究領域を切り開く能力
- 学術的出版物に貢献できる研究を行う能力
- 学術的誠実さの遂行に知的に専念する能力

学術的態度

- 学術的分野のさらなる発展に寄与する姿勢
- 獲得した知識を将来の研究者を教育するために用いる態度
- 学術団体を支援する活動に関わる態度
- 専門的実践家として政策立案分析に関わる姿勢